

報告第 5 号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和 7 年 9 月 2 日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経 営 状 況

第34期事業年度 事業報告
自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

第35期事業年度 事業計画
自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

株式会社 パブリックサービス

目次

ページ

1	第 34 期事業報告	
	I 事業の概況	
	1 事業の経過および成果	
	(1) 当事業年度の概要	1-2
	(2) 安全第一と顧客サービス向上について	2
	(3) 高齢者雇用について	2-3
	(4) 損益の状況	4-6
	第 34 期 事業実績に関する事項	7
	(5) 事業損益の推移(6 期分)	8
	(6) 財政の状況	9
	(7) 新事業開発の使用実績	9
	(8) 市民貢献事業の使用実績	9
	2 業務運営事項	10
	3 会社に対処すべき課題	10
	II 会社の概況	
	1 会社概要	10
	2 株式の状況	11
	3 取締役および監査役	11
	III 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実	11
	IV 業務の適正を確保するための体制の運用状況(参考)	11
	(表)事業一覧	12
2	第 34 期貸借対照表	13
3	第 34 期損益計算書	14
4	第 34 期株主資本等変動計算書	15
5	附属明細書 : 財産目録	16
	注記表	17
6	監査報告書	18
7	第 35 期事業計画	19-21
	添付書類: 第 35 期予算損益計算書	22

第 34 期 事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

1. 事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

① 全体

当事業年度（以下、当期という）は新型コロナが 2 類から 5 類に分類変更された翌年でしたが、コロナの影響はかなり薄れてまいりました。長期のデフレ期がやっと終焉を迎え、世の中に賃上げの気運が高まり最低賃金も過去最大の上げ幅となりましたが、一方で円安や資源価格の高騰に伴う消費者物価の上昇が見られ家計にとって厳しい状況が続きました。米国ではトランプ政権が誕生、アメリカ第一主義の世界経済への負の影響が懸念されています。ウクライナ戦争は未だ終結せず、パレスチナの紛争も止む気配は見えず世界情勢は混沌としております。

② 事業別概況

【受託事業（逗子市）】

- ・福祉バス運行業務は市役所本庁舎から逗子アリーナ経由高齢者センターの往復便と市内東ルート・西ルートから高齢者センター往復の計 3 ルートで安心安全の運行を履行しました。
- ・街区公園・ハイキングコース管理業務では季節の草木を学習して効率の良い作業を遂行しました。
- ・登下校児童交通整理業務は小坪小および久木小で実施。登下校時の児童の安全を確保しました。
- ・学校開放業務は久木小の改修工事と共存しながら安全優先で履行しました。
- ・容器包装プラスチック選別業務は葉山町のゴミ収集併合 5 年目に入りました。当期は容プラごみに混入した電池が搬送先の再処理工場で発熱する事案が発生しました。
- ・池子の森自然公園緑地エリア管理業務は市民オブザーバーの意見も反映し業務を遂行しました。
- ・市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務（逗子文化プラザエリア内）は 2 年目を迎え安全第一で任務を遂行しました。
- ・その他逗子市からの受託業務は順調に遂行しました。

【受託事業（民間）】

- ・市内駐輪駐車場（清水橋南・清水橋北・JR 逗子駅西・JR 逗子駅東）の管理運営を公益財団法人自転車駐車場整備センターより受託しておりますが、建屋の大規模修繕が完了し、さらに自動駐輪機械および自動精算機が導入された後の管理員配置は 4 ヶ所合計で 1 日延べ 15 人から 10 人へ体制の変更がありました。

【指定管理事業（逗子市）】

- ・当期は指定管理二期 5 年目（最終年度）にあたりコロナ禍も終焉しておりましたが、市民交流センター利用状況は前年度に比べ若干好転したものの期初の想定値を下回りました。
- ・当期も協定書に基づく市民活動・生涯学習講座の開催、トモイク等イベント類を履行しました。
- ・期中に次期指定管理三期目のプロポーザル（入札）があり、結果 当社が 2025 年 4 月開始の第三期指定管理者を受注致すことになりました。これは光栄な事であり、次期は市民交流センターの機能を高めさらなる活性化を目指します。

【自主事業】

- ・ ガーデンケア業務（個人宅の草刈り・樹木剪定）は熱中症対策を講じた結果、社員は熱中症に罹らず前年度実績を上回る作業件数を達成しました。
- ・ 市内医療機関（2ヶ所）向け業務では清掃業務および当直業務を日夜遂行いたしました。
- ・ ホーム&ビジネス業務は人材派遣業務（市内大型スーパーほか）、受託業務、請負業務の各分野の受注が安定しています。その中で空き家管理は受注増加傾向にあり、逗子市ふるさと納税を通じての受注もありました。
- ・ 市内私立学校の登校時生徒見守りおよび IT サポートの業務を遂行しました。
- ・ 市内特別養護老人ホームの宿直業務も滞りなく遂行しました。

（※）7 ページ、12 ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

「空き家登録活用支援事業」、「ネットボックス等購入費補助金交付事業」は逗子市の施策を補完および強化するもので市の所管部署と連携して実施いたしました。

（2） 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を遂行する上で車の両輪にあたり、全職場共通の重点項目として注力してまいりました。

① 安全第一の徹底

- ・ 社長および本社幹部は各職場の主任、副主任と密に連係して安全衛生管理を実践しています。
- ・ 定期的開催の主任会議および拡大衛生委員会を通じて安全衛生の実効性を高めています。
- ・ 社長および本社幹部が主要職場を巡回する安全パトロールでは発見事項ならびに指摘事項等を提示して PDCA を回し安全操業に向け課題の改善に努めております。
- ・ 指差呼称は各職場で励行しています。
- ・ 新型コロナ感染症および他の感染症にも引き続き対策を講じてまいります。
- ・ 自然災害（地震・台風・大雨等）への対応は関係者間の連絡網の更新を適宜行っています。
- ・ 安全衛生等対策の実効性を高めるため安全衛生引当金を有効に使用しています。

② 顧客サービス向上

- ・ 当社が管理運営する様々な施設のご利用者である市民、業務委託者である逗子市役所ならびに民間法人には当社のサービスに満足頂けるよう日々研鑽を重ねてまいります。
- ・ 社員向けに接遇研修、コンプライアンスおよびハラスメント知識の習得。派遣スタッフには法定のスキルアップ研修等、警備スタッフに対しては所定の法定研修を継続的に実施しています。

（3） 高齢者雇用について

① 健康管理

- ・ 高齢者が多くを占める当社では毎年の健康診断の受診を雇用継続条件にしており一人一人の健診結果を記録保存して健康管理に役立てています。
- ・ 予防接種等については接種を受けることを推奨しています。
- ・ 近年、警戒級の暑い日が増加しており、当社では下記の熱中症対策を講じています。

- ・ 社長通達および社内通知（社内報含む）を用いて熱中症対策意識を高める。
- ・ 熱中症の発症もしくは疑いがある場合は速やかに上長および本社に連絡を義務化。
- ・ 熱中症患者応急手当を周知（軽症・中等症・重症に区分）。
- ・ 気象庁熱中症警戒アラートを職場に通知、注意を喚起する。
- ・ 屋外作業の職場社員に空調服を会社支給。
- ・ 業務用扇風機や冷風機の設置（作業場）。
- ・ 塩飴・塩タブレット・塩分飲料（ポカリスエット等）・中等症向けの OS1 経口補水液は全て会社支給。凍らせたペットボトルは各自持参（粉末は一部会社支給）。
- ・ ガーデンケア職場では 8 月の一時期を作業休止期間とした。
- ・ 公園・ハイキングコース管理チームは早朝に重労働、日中に軽作業と気温変化に労働を対応。

② 社員統計

当期末の社員総数は前年度末比 4 名減少の 126 名、内女性 は 1 名増の 23 名です。全社の平均年齢は 69.6 歳（前年度より+0.7 歳）でした。内訳は「第一事業部」71.3 歳。「第二事業部（市民交流センター）」56.0 歳。【表 1】をご参照ください。

【表 1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員総数	内訳			
		60 歳以上男性	60 歳以上女性	60 歳未満男性	60 歳未満女性
30 期（令和 3 年 3 月末）	128	109	11	2	6
31 期（令和 4 年 3 月末）	126	106	12	2	6
32 期（令和 5 年 3 月末）	126	105	13	2	6
33 期（令和 6 年 3 月末）	130	105	15	3	7
34 期（令和 7 年 3 月末）	126	100	17	3	6

（注）市民交流センター職員については、採用時の年齢制限を設けておりません。

池子の森自然公園緑地エリア管理職員に 60 歳未満の職員が 2 名含まれています。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。

（単位：人）

事業年度（期末日）	登録者数	内訳			
		60 歳以上男性	60 歳以上女性	60 歳未満男性	60 歳未満女性
30 期（令和 3 年 3 月末）	7	1	6	0	0
31 期（令和 4 年 3 月末）	6	3	3	0	0
32 期（令和 5 年 3 月末）	5	2	3	0	0
33 期（令和 6 年 3 月末）	8	4	4	0	0
34 期（令和 7 年 3 月末）	10	5	5	0	0

※34 期：登録 10 名中、7 名（男性 4 名、女性 3 名）は当社社員兼任です。

(4) 損益の状況

① 第 34 期実績（6 ページ、【表 2】を参照ください。

売上高

当期の全社売上高は 218,086 千円、前年度比で 3,073 千円の増収でした。

期初予算比は 3.5%増、金額で 7,306 千円増収でした。下記に事業別、業務別売上高を記します。

1, 受託事業

1-1 逗子市

【業務別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	34 期実績 (A)	33 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
※福祉バス	12,825	12,003	+822	時給改定微増
公園・ハイキングコース	9,330	8,879	+451	同上
広報板掲示	1,675	1,569	+105	同上
自転車保管場所	1,635	1,519	+116	同上
※登下校児童交通整理 (久木小・小坪小)	1,647	1,535	+112	同上
※学校開放 (久木小)	2,698	2,533	+164	同上
容器包装プラスチック選別	25,831	24,033	+1,797	34 期は年末年始勤務増加
屋外広告対策	270	259	+11	時給改定微増
池子の森自然公園管理	3,050	2,956	+94	同上
小学校水泳学習交通誘導	805	599	+206	34 期は契約期間変更
計	59,771	55,889	+3,881	—

※を付した業務は出来高で売上高が変動します。

1-2 公益財団法人自転車駐車場整備センター

【業務別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	34 期実績 (A)	33 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
駐輪駐車場管理 (4 ヶ所)	36,669	43,032	△6,362	管理員配置人数の減少
計	36,669	43,032	△6,362	—

2, 指定管理事業：逗子市

【売上明細】

(税抜き：単位 千円)

市民交流センター	34 期実績 (A)	33 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
指定管理収入	40,263	40,263	0	—
会議室使用料収入	5,434	5,226	+208	利用件数微増
プール利用料収入 (一般)	12,846	12,979	△132	収入微減
プール利用料収入 (小学校)	3,820	3,098	+721	契約額の増加
プーチカ (水泳スクール)	526	473	+53	増収
自動販売機収入	991	824	+166	増収
その他収入	1,687	1,552	+135	微増
計	65,571	64,418	+1,152	—

3, 自主事業：民間

【業種別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	34 期実績 (A)	33 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
ガーデンケア	25,086	21,889	+3,196	個人宅草刈り剪定：注文増加
医療機関業務（2ヶ所）	9,099	8,748	+351	契約額微増
ビジネスサポート	18,306	18,585	△278	売上微減
ホームサポート	2,301	2,267	+34	売上微増
披露山レストハウス	1,099	-	+1,099	リニューアルオープン
その他	181	181	0	警備業務・市民チラシ
計	56,074	51,672	+4,402	—

・売上原価

当期の売上原価は 198,125 千円で前年度比 1,806 千円増加となりました。

・売上総利益（粗利益）：《売上高から売上原価を引いた金額》

当期の全社売上総利益（粗利益）は 19,960 千円で前年度比 1,268 千円増益、期初予算比では 732 千円の増益となりました。

・販売費および一般管理費：

20,327 千円で前年度実績比 380 千円の増加でした。

・営業利益（または営業損失）

営業損失は 367 千円、前年度実績比で 887 千円増益。期初予算比で 595 千円減益でした。

・営業外収益

営業外収益 2,047 千円は前年度比 1,017 千円の減益。

(当期の内訳) 預金利息 9 千円、特定求職者雇用開発助成金 1,000 千円、披露山公園自動販売機収入 585 千円、安全衛生引当金戻入 378 千円、その他 74 千円。

前年度との主な差異は特定求職者雇用開発助成金 850 千円減少、安全衛生引当金戻入 84 千円減少、雑収入（その他）57 千円減少でした。

・営業外費用

営業外費用 630 千円で前年度比 757 千円の減少。

(当期の内訳) 安全衛生引当金繰入損 250 千円。安全衛生費用 378 千円。その他損失 2 千円。

前年度との主な差異は安全衛生引当金繰入損 675 千円減少、安全衛生費用 84 千円減少。

・経常利益

経常利益 1,050 千円で前年度比 626 千円増益。期初予算比 443 千円減益。

・特別利益

新事業開発準備金取崩益 1,144 千円。

市民貢献準備金取崩益 734 千円。

・特別損失

新事業開発費償却 1,144 千円。

市民貢献事業費償却 734 千円。

・ 税引前当期利益

1,050 千円は前年度比 626 千円の増益。期初予算比 443 千円減益。

・ 法人税、事業税および住民税等

200 千円で前年度と同額。

・ 当期純利益

当期純利益 850 千円は前年度比 626 千円の増益。期初予算比 443 千円減益。

【表 2】損益計算書（要約）

（税抜き 単位：千円）

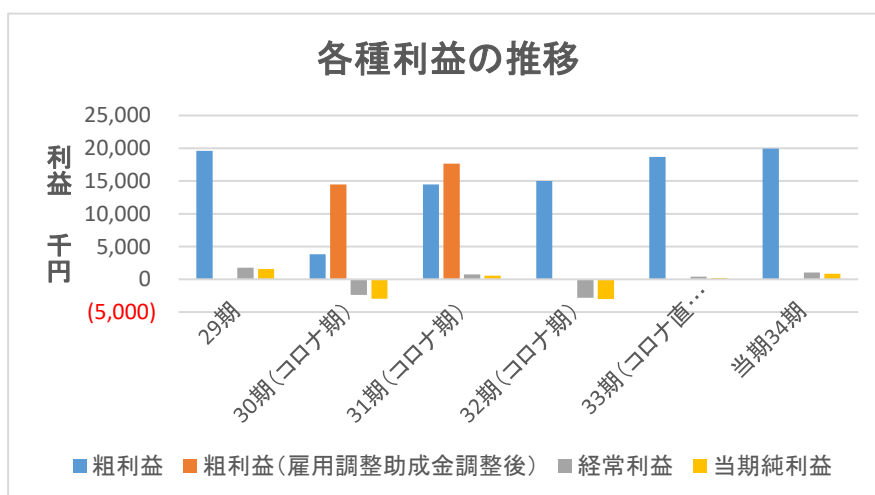
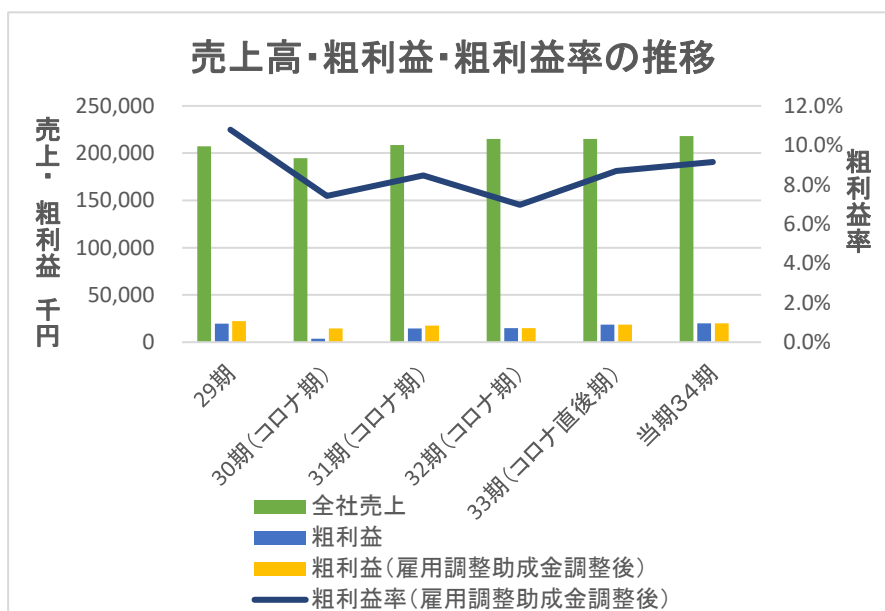
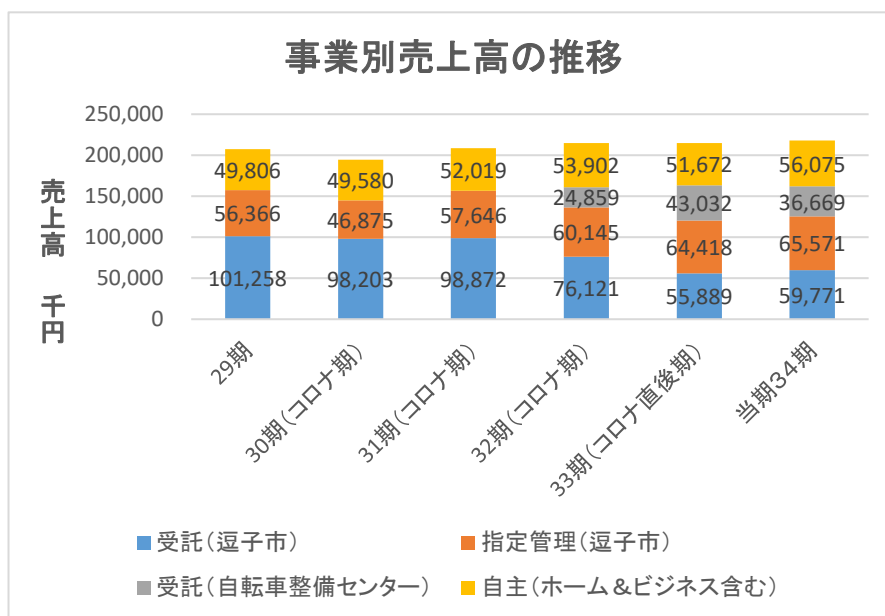
	34 期実績	34 期期初予算	33 期実績
（売上高）			
・ 受託事業（逗子市）	(59,771)	(58,998)	(55,889)
・ 受託事業（民間）	(36,669)	(35,640)	(43,032)
・ 指定管理事業	(65,571)	(65,560)	(64,418)
・ 自主事業	(56,074)	(50,582)	(51,672)
売上高合計	218,086	210,780	215,012
売上原価合計	198,125	191,552	196,319
売上総利益（粗利益）	19,960	19,228	18,693
販売費および一般管理費	20,327	19,000	19,946
営業利益（△は営業損失）	△367	228	△1,253
営業外収益	2,047	2,391	3,064
営業外費用	630	1,125	1,387
経常利益	1,050	1,494	423
特別利益	1,878	7,705	3,105
特別損失	1,878	7,705	3,105
税引前当期利益	1,050	1,494	423
法人税等	200	200	200
当期純利益	850	1,294	223

（注）（ ）は売上高の事業別内訳です。△はマイナス金額を表示。

詳細については 7 ページ【表 3】「事業実績に関する事項」をご覧ください。

【表 3】 第34期 事業実績に関する事項				
業務		売上高	利用者数等	利用者数等
		(税抜き千円)	第34期	第33期
受託事業 (逗子市および民間)				
逗子市	福祉バス運行 (出来高)	12,825	福祉バス利用 29,340人 (往復延べ)	福祉バス利用 29,718人 (往復延べ)
	街区公園・ハイキングコース維持管理/高齢者センター他グリーンメンテナンス/小坪保育園樹木剪定	9,330	75公園, 4ハイキングコース 春秋各1回園内管理ほか	75公園, 4ハイキングコース 春秋各1回園内管理ほか
	広報板掲示等業務	1,675	62ヶ所	62ヶ所
	自転車等保管場所	1,635	自転車 257台、バイク24台	自転車 328台、バイク45台
	登下校児童交通整理 (出来高)	1,647	小坪小学校、久木小学校	小坪小学校、久木小学校
	学校施設開放管理 (出来高)	2,698	14,480人 (久木小学校)	16,254人 (久木小学校)
	容プラ処理業務	25,831	ペール 1,312トン	ペール 1,302トン
	屋外広告物対策事業	270	違反広告監視	違反広告監視
	池子の森自然公園緑地管理	3,050	入園者総数 29,601人	入園者総数 30,115人
	市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導 (場所: 逗子文化プラザ内)	805	市内4小学校 (小坪・久木・沼間・池子)	市内4小学校 (小坪・久木・沼間・池子)
	逗子市受託合計	59,771	-	-
民間	清水橋南北駐輪駐車場	36,669	扱い区分【清水橋南】(一時)自動車・自転車・バイク (定期)自転車・バイク 【清水橋北】(一時)自転車・バイク	扱い区分【清水橋南】(一時)自動車・自転車・バイク (定期)自転車・バイク 【清水橋北】(一時)自転車・バイク
	JR逗子駅西東駐輪場		扱い区分【JR逗子駅西】(定期)自転車・バイク 【JR逗子駅東】(一時)自転車・バイク	扱い区分【JR逗子駅西】(定期)自転車・バイク 【JR逗子駅東】(一時)自転車・バイク
	民間 (公益財団法人自転車駐車場整備センター) 受託合計	36,669	-	-
	指定管理者事業 (逗子市)			
	会議室・市民交流スペース等利用者数	65,571	センター全体95,811人、	センター全体101,218人、
	プール利用者数		46,358人	48,173人
	指定管理合計	65,571	-	-
自主事業 (民間・個人)				
	ガーデンケア	25,086	665件	575件
	民間施設管理・清掃・当直	9,099	市内医療機関2ヶ所	市内医療機関2ヶ所
	ホーム&ビジネス・サポート	20,608	派遣・請負	派遣・請負
	披露山レストハウス売店	1,099	営業日: 土・日・祝日	営業日: 土・日・祝日
	その他	181	市民チラシ、警備スポット	市民チラシ、警備スポット
	自主合計	56,074	-	-
全社合計		218,086	-	-

(5) 事業損益の推移（6期分）



(6) 財政の状況

【表 4】貸借対照表(要約)

(単位：千円)

		34 期	33 期
		令和 7 年 3 月 31 日	令和 6 年 3 月 31 日
資 産	現預金	75,205	77,572
	その他流動資産	13,189	11,672
	固定資産	1,429	1,748
	合計	89,823	90,993
負 債 資 本	流動負債	22,272	22,413
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	利益準備金	120	120
	新事業開発準備金	13,013	14,158
	市民貢献準備金	2,068	2,654
	繰越利益剰余金	38,948	38,247
	合計	89,823	90,993

(7) 新事業開発の使用実績

当費用は新事業開発準備金を原資としており、事業予算は第 33 期株主総会（令和 6 年 6 月）で報告しております。

・新事業開発費用

事業名	実績（千円）	備考
警備業開発費用	699	事業投資・事業継続費用
披露山レストハウス 再開発費用	444	事業投資・新規開店費用
合計	1,144	-

(8) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市および逗子市民への貢献を目的とする基金で市民貢献準備金を原資としており、事業期初予算は第 31 期株主総会（令和 4 年 6 月）で報告しております。

・市民貢献事業の内訳

事業名	実績（千円）	備考
空き家登録活用支援事業	201	空き家登録者支援および空き家利活用者支援の双方
ネットボックス等購入費 補助金交付事業	533	ごみネットボックス 新規もしくは更新 に対する補助
合計	734	-

2. 業務運営事項

- ・ 令和 6 年 4 月 逗子市等との間で令和 6 年度受託等の契約を締結
- ・ 令和 6 年 5 月 第 33 期 監査役監査の実施
- ・ 令和 6 年 6 月 26 日 第 33 期定時株主総会開催
- ・ 令和 6 年 7 月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・ 令和 6 年 6 月以降 第 34 期取締役会 6 回開催

3. 会社が対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。社員の高齢化が進む中、健康重視の経営を進めます。熱中症対策にも注力します。

(2) 顧客サービスの品質向上

接客マナーを良くすると共に顧客対応を丁寧におこないサービス品質向上に努めます。

(3) 市民貢献事業等

逗子市および逗子市民の公共的ニーズおよび暮らしの課題の解決に役立てるために市民貢献事業準備金および新事業開発準備金を有効に活用します。

(4) 新規事業の開拓

- ・ 「ホーム&ビジネス・サポート事業」は時代の要請に合ったビジネスの拡大を模索します。
- ・ 警備業は業務体制を早期に構築して民間からの新規受注をめざします。
- ・ 市から施設利用許可を得て運営する披露山レストハウスは冷暖房設備を導入して利用者に快適な環境と寛ぎの場を提供するようにします。

(5) 雇用の促進

- ・ 逗子の高齢者に働く魅力を発信すると共に当社の認知度・好感度を高める活動を行います。
- ・ 事業を広く展開して女性の雇用を推進してまいります。

(6) 社内規程等の再整備

昨今、働き方に関する法改正が行われています。就業規則はじめ主要規程の見直しを実施いたします予定です。

Ⅱ. 会社の概況

1. 会社概要（令和 7 年 3 月 31 日現在）

設立年月日	平成 3 年（1991 年）8 月 26 日
払込資本金	1,040 万円
主な事業内容	公共施設管理業務、市内法人市民向け各種サービス業務等
社員の状況	126 名（うち女性 23 名） 平均年齢 69.6 歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子 4 丁目 948 番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子 5 丁目 4 番 33 号 逗子会館 2 階
事業年度	4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの 1 年

2. 株式の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208 株 （1 株額面 5 万円）

(2) 株主および出資状況

株 主 名	持株数	出資比率
逗子市	106 株	50.96%
株式会社横浜銀行	10 株	4.81%
かながわ信用金庫	10 株	4.81%
湘南信用金庫	10 株	4.81%
逗子市商工会	5 株	2.40%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1 株	0.48%
市民株主	64 株	30.77%
その他	2 株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和7年3月31日現在）

職 名 ・ 氏 名	主 な 役 職 名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 湊屋孝之	逗子市商工会顧問、鎌倉法人会参与
取締役 玄 真琴	逗子葉山経済新聞編集長
取締役 岸原 晃	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
監査役 柿本弘正	株式会社横浜銀行逗子支店長

Ⅲ. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織および業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業	委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行	
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理	
高齢者センター・グリーンメンテナンス。小坪保育園樹木剪定 園内管理	
広報板掲示等業務	
自転車等保管場所管理	
登下校児童交通整理配置（小坪小学校・久木小学校）	
放課後・土曜日・日曜日などの学校施設開放管理業務（久木小）	
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務	
屋外広告物対策事業	
池子の森自然公園緑地管理業務	
市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務	

受託事業	委託者：公益財団法人自転車駐車場整備センター
駐輪駐車場（清水橋南北駐輪駐車場、JR 逗子駅西東駐輪場）の管理運営 （令和4年10月1日 逗子市より現委託者に経営主体変更）	

指定管理	委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業	

自主事業	委託者：民間
ガーデニング（市内ご家庭や集合住宅のお庭の手入れ）	
市内特別養護老人ホーム庭園管理	
医療センターの清掃・当直業務ほか	
市内クリニックの当直業務	
ホーム&ビジネス・サポート事業 （人材派遣）大型スーパー、市内私立中高等学校、市内高齢者介護施設（受託）事務所清掃、駐車場監視など。（請負）個人宅、シェアハウスの掃除、片付けなど	
警備業（第1号警備：施設警備）（第2号警備：雑踏警備・交通誘導）	

自主事業	（逗子市から施設貸与）
披露山レストハウス売店運営業務	

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示。
金額は表示単位未満の端数を切り捨て、パーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して表示しております。
数字の前に付く△はマイナスを意味します。

第34期 貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位:千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	228	未払費用	14,443
預金	74,977	未払法人税等	200
売掛金	10,160	未払消費税等	4,298
立替金	126	預り金	656
仮払金	1,595	安全衛生引当金	2,673
前払費用	931		
未収入金	376		
流動資産合計	88,394	流動負債合計	22,272
II 固定資産		II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
(有形固定資産)		固定負債合計	3,000
建物	0	負債合計	25,272
構築物	0	(純資産の部)	
車両運搬具	938	I 株主資本	
工具器具備品	127	資本金	10,400
一括償却資産	348	利益剰余金	
		利益準備金	120
(投資その他の資産)		その他利益剰余金	54,031
敷金	16	新事業開発準備金	13,013
		市民貢献準備金	2,068
		繰越利益剰余金	38,948
固定資産合計	1,429	純資産合計	64,551
資産合計	89,823	負債・純資産合計	89,823

(注)有形固定資産の減価償却累計額 : 14,214千円

第34期損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	96,440	
指定管理事業	65,571	
自主事業	56,074	
売上高合計		218,086
売上原価		198,125
売上総利益		19,960
販売費及び一般管理費		20,327
営業利益(△は営業損失)		△367
営業外収益		
受取利息	9	
安全衛生引当金戻入益	378	
特定求職者雇用開発助成金	1,000	
その他収益	659	
営業外収益合計		2,047
営業外費用		
安全衛生費用	378	
安全衛生引当金繰入損	250	
その他損失	2	
営業外費用合計		630
経常利益		1,050
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	1,144	
市民貢献準備金取崩益	734	
		1,878
特別損失		
新事業開発費償却	1,144	
市民貢献準備金償却	734	
特別損失合計		1,878
税引前当期利益		1,050
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		850

第34期株主資本等変動計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位: 千円)

	株主資本						株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金						
		利益準備金				利益剰余金 合計		
			新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	14,158	2,654	38,247	55,180	65,580	65,580
当期変動額								
新事業開発準備金取崩益			△ 1,144	149	△ 149	△ 1,144	△ 1,144	△ 1,144
市民貢献準備金取崩益				△ 734		△ 734	△ 734	△ 734
当期純利益					850	850	850	850
当期変動額合計			△ 1,144	△ 585	701	△ 1,028	△ 1,028	△ 1,028
当期末残高	10,400	120	13,013	2,068	38,948	54,151	64,551	64,551

(附属明細書)

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	228	現金
預金	74,977	普通預金、定期預金
売掛金	10,160	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、逗子桜山クリニック、(株)イトーヨーカ堂、ビジネスサポート顧客、ガーデンケア顧客ほか
立替金	126	社員立替金ほか
仮払金	1,595	駐輪駐車場・自転車保管場所 つり銭
前払費用	931	損害保険料、自動車リサイクル預託金ほか
未収入金	376	市民交流センター利用料ほか
建物	0	-
構築物	0	-
車両運搬具	938	軽自動車11台、バイク1台
工具器具備品	127	パソコン2, 脚立1, プールロッカー1、物置2
一括償却資産	348	パソコン3台
敷金	16	駐車場1台敷金
合 計	89,823	-

負 債 の 明 細	金 額	説 明
未払費用	14,443	従業員給与(令和7年3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	4,298	鎌倉税務署
預り金	656	源泉税等、駐輪場ICカードほか
安全衛生引当金	2,673	安全衛生費等充当用
修繕引当金	3,000	修繕費充当用
合 計	25,272	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 : 14,214千円

前期末株式数 208株

当期末株式数 208株

監査報告書

令和7年5月12日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 柿本 弘正 ⑩

私、監査役は令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第34期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

第 35 期 事業計画

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

(1) 第 35 期事業概要

受託事業（逗子市および民間）は業務の質的向上とコストの安定化に注力します。指定管理事業（市民交流センター運営）は新しい運営体制で三期目がスタートいたしました。自主事業全般については新規受注の獲得を目指してまいります。

近年、民間企業・役所等の定年延長・再雇用が定着しつつある中、当社社員も入社時の高齢化が進んでおり在籍社員の平均年齢も緩やかに上昇しています。ついては、社員の健康状態の良否が業務遂行の重要な要素になると考え健康経営を推進いたします。

【受託事業（逗子市）】

- ・ 容器包装プラスチック選別業務は逗子市および葉山町の容プラごみが対象ですが、電池混入に因る火災事故が社会問題化しているので緊張感をもって業務を遂行し、また熱中症対策にも万全を期してまいります。
- ・ 福祉バス運行業務では引き続き利用者に満足のいただける安全な運行を遂行いたします。
- ・ 街区公園ハイキングコース管理は季節および現場の条件に適した効率の良い作業を目指します。
- ・ 学校開放業務は久木小学校の開放業務および逗子小学校調整会を引き続き遂行します。
- ・ 登下校児童交通整理は小坪小、久木小の 2 校が対象、確実に児童の安全を守ってまいります
- ・ 池子の森自然公園緑地エリア管理業務は来園者に飲ばれる業務運営をおこないます。
- ・ 逗子文化プラザ内市内小学校水泳学習マイクロバス交通誘導は 3 年目、安全第一を維持します。
- ・ 自転車保管場所、広報板掲示、違反広告監視の受注業務は同じく確実に業務を遂行します。

【受託事業（民間）】

駐輪駐車場管理業務（公益財団法人自転車駐車場整備センター）は設備の機械化が進みましたが、安全第一と心の通う接遇を心掛けてまいります。

【指定管理事業（逗子市）】

指定管理業務（市民交流センター）は三期目初年度を迎えました。市民の要望に沿ったセンター運営をおこない、施設維持管理および施設利用率向上に注力します。地下温水プールは市立小学校 5 校が利用するので児童の身体安全を最優先とする適切な現場対応を実施します。

【自主事業】

- ・ ホーム＆ビジネスのホーム部門は市民のニーズを拾い事業の拡大を目指します。空き家管理業務は受注を増やしてまいります。ビジネス部門は市内法人からの信頼を高め受注獲得に努めます。
- ・ ガーデンケア（個人宅庭の草刈り・樹木の剪定）は熱中症対策に注力して業務体制を構築します。
- ・ 市内医療機関向け業務は木目の細かい業務を遂行します。尚、令和 7 年 4 月より旧当直業務は施設警備業務に変更いたしました。

(2) 第 35 期事業予算

・ 予算内訳は 3 部構成になっております。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

II：新事業開発に関する予算

III：市民貢献事業に関する予算

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【全社売上高】

第 35 期全社売上高は 222,451 千円を見込みます。前年度実績比で 4,364 千円の増収。

内訳

[受託事業（逗子市）]

受託事業（逗子市）の売上予算は 61,682 千円、前年度実績比で 1,911 千円の増収を見込む。

[受託事業（民間）]

受託事業（公益財団法人自転車駐車場整備センター）の売上予算は 37,952 千円、前年度実績比で 1,283 千円の増収を見込む。

[指定管理事業（逗子市）]

指定管理（市民交流センター）売上予算は 66,100 千円、前年度実績比 529 千円の増収を見込む。

[自主事業]

自主事業売上予算は 56,716 千円、ほぼ横ばいの前年度実績比 640 千円の増収を見込む。

【売上総利益（粗利益）】 20,955 千円、前年度実績比 994 千円の増益を見込む。

【販売費及び一般管理費】 19,950 千円。

【営業利益】 1,005 千円。前年度実績比 1,372 千円増益。

【営業外収益】 合計 2,350 千円。

内訳：受取利息 10 千円、安全衛生引当金戻入 800 千円、特定休職者雇用開発助成金 1,000 千円、披露山自販機収入 540 千円。

【営業外費用】 合計 1,300 千円。

内訳：安全衛生費用 800 千円、安全衛生引当金繰入損 500 千円。

※安全衛生費用には社内規程改定の費用を含みます。

【経常利益】 2,055 千円。前年度実績比 1,005 千円増益。

【特別利益】 合計 5,000 千円

新事業開発準備金取崩益 4,000 千円。市民貢献準備金取崩益 1,000 千円。

【特別損失】 合計 5,000 千円

新事業開発費償却 4,000 千円。市民貢献準備金償却 1,000 千円。

【法人税、住民税及び事業税】 200 千円。

【当期純利益】 1,855 千円。前年度実績比 1,005 千円増益。

Ⅱ：新事業開発に関する予算

前年度に引き続き、警備業（33 期より継続）ならびに披露山レストハウス運営開発費（令和 6 年 4 月に施設管理許可更新取得）を新事業開発案件と致します。また、引き続き新規事業開発の好機に備えるため予備費を計上します。尚、投資額は将来収益での回収を目指します。

新規事業名	金額（千円）	経費内訳
第 35 期 新事業開発予算	4,000	警備業 1,000 千円（内容：法定研修費、指導講師費用ほか）
		披露山レストハウス 1,000 千円（内容：エアコン設置・修繕費・その他）
		新規案件の予備費 2,000 千円
合計	4,000	－

（注記）警備業は新規予算 1,000 千円。披露山レストハウスは前年度繰越分に相当。新規案件予備費は年度ごとに設定しています。

Ⅲ：市民貢献事業に関する予算

第 34 期をもって「空き家活用支援事業」「ネットボックス等購入費補助金交付事業」は終了しましたが、第 35 期は予備費として 1,000 千円を計上いたします。

事業名	金額（千円）	内訳
第 35 期 市民貢献事業予算	1,000	予備費
合計	1,000	－

以上

第 35 期 事業予算（予算損益計算書）
（期間：令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日）

（税抜き 単位：千円）

	項目	第 35 期・期初予算	第 34 期実績 （参考）
予算 Ⅰ	（売 上）		
	（受託事業収入：逗子市）	(61, 682)	(59, 771)
	（受託事業収入：民間）	(37, 952)	(36, 669)
	（指定管理収入）	(66, 100)	(65, 571)
	（自主事業収入）	(56, 716)	(56, 074)
	売上高合計	222, 451	218, 086
	売上原価	201, 496	198, 125
	売上総利益	20, 955	19, 960
	販売費及び一般管理費	19, 950	20, 327
	営業利益（△は営業損失）	1, 005	△367
	（営業外収益）		
	受取利息	10	9
	安全衛生引当金戻入	800	378
	特定求職者雇用開発助成金	1, 000	1, 000
	自販機収入	540	585
	雑収入	0	74
	合計	2, 350	2, 047
	（営業外費用）		
	安全衛生費用	800	378
	安全衛生引当金繰入	500	250
	雑損失	0	2
	合計	1, 300	630
	経常利益	2, 055	1, 050
予算 Ⅱ・Ⅲ	（特別利益）		
	新事業開発準備金取崩益	4, 000	1, 144
	市民貢献準備金取崩益	1, 000	734
	合計	5, 000	1, 878
	（特別損失）		
	新事業開発費償却	4, 000	1, 144
	市民貢献準備金償却	1, 000	734
	合計	5, 000	1, 878
	税引前当期利益	2, 055	1, 050
	法人税等	200	200
	当期純利益	1, 855	850

（注）△の金額はマイナスを表します。